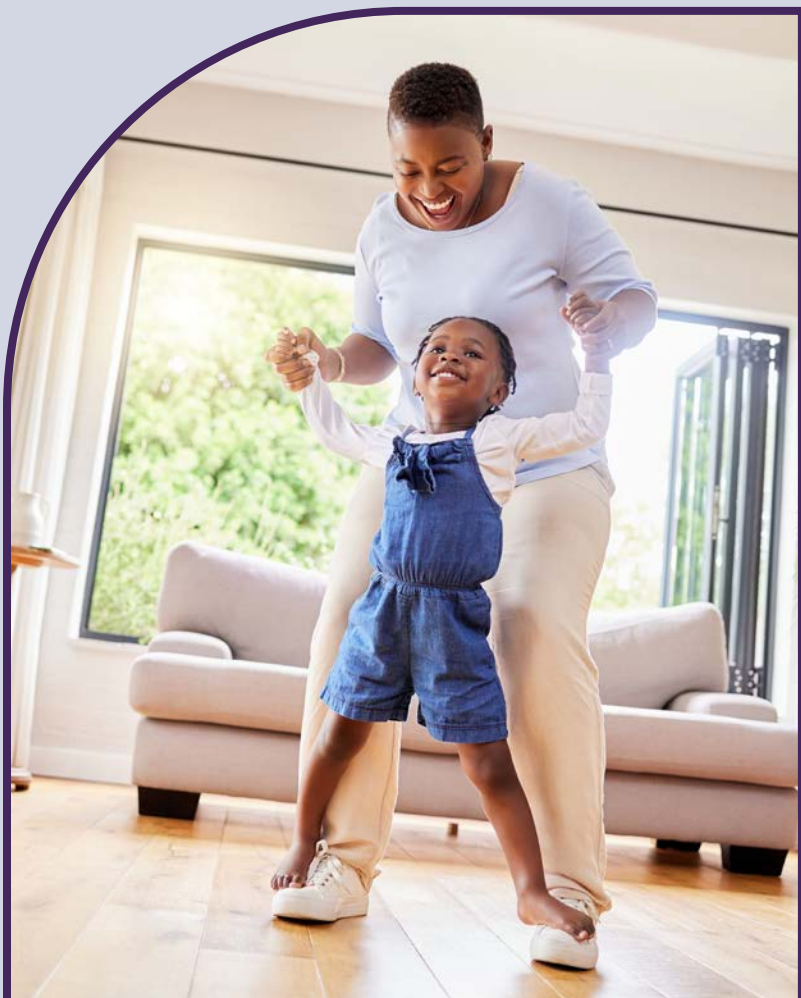


早期介入 プログラムからの移行



お子さまの次のステップ



Department
of Health

移行とは何でしょうか？

移行とは、お子さまが早期介入プログラム（Early Intervention Program）を離れる時期のことをいいます。

移行プランの計画はいつごろから始めるべきでしょうか？

子どもたちが早期介入プログラムに参加する期間は短いため（出生から3歳まで）、移行プランの計画はできるだけ早く開始することが大切です。お子さまが3歳になる前に、サービスコーディネーターが移行プランの計画について案内をします。この計画の中で、移行プランを作成します。

移行プランとはどのようなものなのでしょうか？

お子さまが早期介入プログラムを終了する前に、保護者の皆さまと個別家族サービス計画（Individualized Family Service Plan）チームによって、書面による移行プランが作成されます。このプランには、プログラムが終了する際に、お子さまやご家族に必要となる可能性がある支援やサポート、サービスが含まれます。それぞれの移行プランは、お子さまとご家族のニーズに合わせて個別に作成されます。

早期介入プログラムを修了した子どもたちは、地域の学区が実施する就学前特別支援教育プログラム（Preschool Special Education Program）、または地域の他の幼児期サービスや支援を受けることができます。

就学前特別支援教育プログラムとは何ですか？

就学前特別支援教育プログラムは、3歳から5歳までの障害のある子どもたちを対象としています。ニューヨーク州教育局（New York State Education Department）が就学前特別支援教育プログラムとサービスを監督しています。3歳になり、就学前サービスを受ける資格がある可能性のある子どもたちは、地元の学区を通じて就学前特別支援教育委員会（Committee on Preschool Special Education、CPSE）に紹介を受けます。



就学前特別教育プログラムおよびサービスの資格を取得するための4つのステップはどのようなもののでしょうか？

ステップ1 通知

担当のサービスコーディネーターが、お子さまが就学前特別支援教育プログラムおよびサービスの対象になる可能性があることを学区に通知します。この通知に対しては書面で反対する（オプトアウトする）ことができます。

ステップ2 移行カンファレンス

担当のサービスコーディネーターは、CPSE委員長とのミーティングを行う機会を保護者に提供しなければなりません。このミーティングは移行カンファレンス (transition conference) と呼ばれます。

移行カンファレンスの主な目標は次のとおりです。

- 早期介入プログラムとCPSEの違いを確認する。
- いつ、どのようにお子さまをCPSEに紹介するかについて話し合う。
- CPSEの評価と適格性プロセスについて話し合う。
- お子さまのためにCPSEを通して受けられるサービスの選択肢を検討する。
- あなたの質問に答える。
- 移行プランを作成・更新する。

ステップ3 紹介

3歳になるお子さまで、就学前特別支援教育プログラムやサービスを受ける資格がある可能性がある場合は、担当のCPSE（就学前特別支援教育委員会）に紹介することができます。紹介状とは、お子さまに特別支援教育サービスが必要かどうかを学区に判断してもらうための書面です。サービスコーディネーターがこの紹介をお手伝いします。

ステップ4 評価

CPSEは、お子さまが就学前特別教育プログラムとサービスを受ける資格があるかどうかを判断します。CPSEは、お子さまの早期介入プログラムの評価を使用する場合や、新たな評価の実施を依頼する場合があります。新たな評価が必要な場合は、CPSEから書面による同意を要請いたします。



お子さまが就学前特別支援教育の対象となる場合、早期介入プログラムはいつ終了し、就学前サービスが開始されるのでしょうか？

- 早期介入サービスの終了と就学前サービスの開始時期は、お子さまの3歳の誕生日がいつであるかによって決まります。
- お子さまは、早期介入プログラムと就学前特別支援教育プログラムに同時に参加することはできません。早期介入チームとCPSE委員長が、お子さまのプログラムに対するニーズに基づき、最適な移行日を案内します。
- CPSEとのミーティングの際に、お子さまの移行日について学区と必ず話し合ってください。

お子さまが就学前特別支援教育サービスの対象とならない場合はどうなりますか？

お子さまの早期介入サービスの最終日は、3歳の誕生日の前日となります。

考慮すべき事柄

- 担当のサービスコーディネーターが移行プランの更新をお手伝いします。
- サービスを受けるための選択肢がいくつかあります。学区を経由せずに、民間の健康保険や自己負担でサービスを利用することもできるほか、地域の幼稚園や保育園など、地域内のサービスを利用することもできます。

覚えておきたい重要なポイント

- 早期介入プログラムの参加資格があっても、お子さまが就学前特別支援教育プログラムに参加できることが保証されるわけではありません。
- 早期介入プログラムへの移行については、お子さまが早期介入プログラムに参加した当初から話し合いを行い、お子さまが3歳に近づくにつれて見直しをしていく必要があります。
- お子さまをCPSEに紹介し、評価への同意書に署名していただくことで、お子さまが3歳の誕生日を迎える前にCPSEミーティングを行なえるよう十分な時間を確保してください。
- お子さまが就学前特別支援教育の対象者であっても、CPSEミーティングが3歳の誕生日以降に行われた場合、早期介入サービスの最終日は3歳の誕生日の前日となります。

早期介入プログラムからの移行
は、お子さまとご家族にとって
大きな一歩となります。サービ
スコーディネーターは、プログ
ラムを修了する際のスムーズな
移行をお手伝いします。

詳細については以下までご連絡ください。

**ニューヨーク州保健局（New York State
Department of Health）早期介入プログラム
（Early Intervention Program）**

電話番号：(518) 473-7016

Eメール：beipub@health.ny.gov

ウェブサイト：health.ny.gov/EIFamilies

**ニューヨーク州教育局（New York State
Education Department）**

電話番号：(518) 474-3852

ウェブサイト：nysed.gov



**Department
of Health**